

# 日本人が通常の食生活から摂取するフラン — 食品群に含まれる個々の食品の寄与率 —

## 技術の特徴

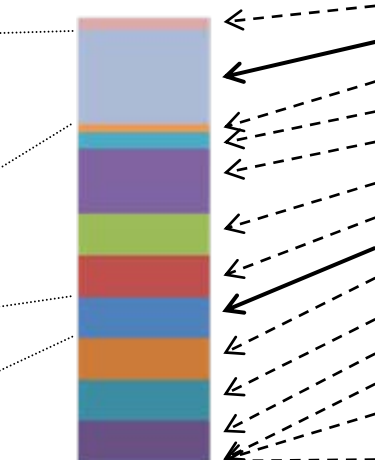
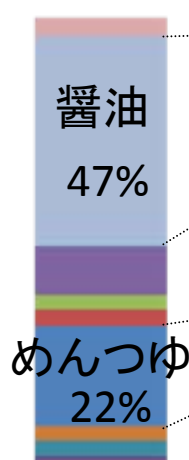
フランは食品の加熱加工や調理の際に生成すると考えられている有害成分です。我々が実施したトータルダイエツスタディ(TDS)では、日本人は通常の食生活でフランを体重1 kg あたり137 ng/日摂取していると推定されました。このポスターではフランの主な摂取源と考えられた食品群に含まれる個々の食品中のフラン濃度を調べた結果について紹介しています。

## 研究の内容

TDSの結果から、フランの主な摂取源である食品群は、調味料・香辛料類(36%)と嗜好飲料類(34%)でした。図には、TDSの試料調製に用いた食品別の摂取量とフラン摂取への寄与率を、調味料・香辛料類について示しています。嗜好飲料類では缶コーヒーの寄与が大きく、フラン摂取への寄与率は83%でした。

### フラン摂取への 寄与率

### 食品別摂取割合



| 食品       | 小分類     | 摂取量<br>(g/日) |
|----------|---------|--------------|
| トンカツソース  | ソース     | 2.3          |
| 醤油       | 醤油      | 18.7         |
| 塩        | 塩       | 1.5          |
| マヨネーズ    | マヨネーズ   | 3.1          |
| 味噌       | 味噌      | 12.9         |
| トマトケチャップ | その他の調味料 | 合計<br>48.7   |
| ドレッシング   |         |              |
| めんつゆ     |         |              |
| カレールウ    |         |              |
| ハヤシルウ    |         |              |
| だしの素     |         |              |
| コショウ     | 香辛料・その他 | 合計<br>0.2    |
| チリパウダー   |         |              |
| ねりからし    |         |              |

## 調味料・香辛料類の食品別摂取量とフラン摂取への寄与率

## 今後の展開

醤油、めんつゆ、缶コーヒー等のフラン濃度の高い食品について、複数の製品を入手し分析を行っています。また、加工食品の製造工程と製品のフラン濃度の関連性解明にも取り組んでいます。

本研究は、平成17-19年度先端技術を活用した農林水産研究 高度化事業により実施しました